

# 男女共同参画意識に関する調査



## 1章 調査の概要

### 1 調査の目的

社会情勢の変化の中で、県民の男女共同参画に対する意識や実態等がどのように変化してきたかを把握・検証し、課題を整理して、「あいち男女共同参画プラン 2020」改訂の基礎資料とするとともに、今後の施策に反映させることを目的として、本調査を行う。

### 2 調査の内容

#### 【調査の項目】

- ・ 回答者の属性 (1問)
- ・ 男女平等について (2問)
- ・ 家庭生活について (4問)
- ・ 女性の活躍について (11問)
- ・ 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について (3問)
- ・ 地域活動について (1問)
- ・ 性的少数者やドメスティック・バイオレンス(DV)などについて (3問)
- ・ 男女共同参画行政について (4問) (計 29問)

#### 【調査の設計】

- (1) 調査地域 愛知県の全域
- (2) 調査対象 県内居住の18歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出
- (5) 拠点設置

	拠点数	標本数	標本比率 (%)
名古屋地域	44	880	29.3
尾張地域	60	1,200	40.0
西三河地域	29	580	19.3
東三河地域	17	340	11.3
合計	150	3,000	100.0

- (6) 調査方法 郵送法
- (7) 令和元年7月～8月

#### 【回収結果】

標本数 (A)	3,000
総回収数 (B)	1,237
有効回収数 (C)	1,220
無効回収数 (白票であったもの等)	17
回収率 (B/A)	41.2%
有効回収率 (C/A)	40.7%

### 3 報告書の見方

- ・ 比率はすべてパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、パーセントの合計が100にならないことがある。
- ・ 基数となるべき実数は、N（number of case の略）として掲載している。本文中の比率はすべてNを100%として算出している。
- ・ クロス集計では、属性などが無回答について非掲載としているため、クロス集計の回答者数の合計が全体の回答者数を下回る場合がある。
- ・ 報告書中の集計表は、特に断りがない限り、上段が件数、下段が割合（%）を表している。
- ・ 1人の対象者に複数の回答を求めたものについては、対象者の回答が2つ以上となることもありうるため、合計は100%を超えることもある。
- ・ 集計表の表側には、無回答を含めていないため、各属性の合計が全体と合致しないことがある。
- ・ 性別の「答えたくない、わからない、その他」や年齢の「10歳代」については、サンプル数が少ない（13人）ため原則としてコメントしない。コメントがある場合は、参考程度とされたい。
- ・ 他調査との比較を行っている項目は、以下の調査結果を用いている。

#### <令和元年全国調査>

内閣府大臣官房政府広報室 「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年）

- ・ 調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者 5,000人
- ・ 標本数：5,000人（回収率52.9%）
- ・ 調査方法：調査員による個別面接聴取
- ・ 調査期間：令和元年9月5日～9月22日

#### <平成28年全国調査>

内閣府大臣官房政府広報室 「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成28年）

- ・ 調査対象：全国18歳以上の日本国籍を有する者 5,000人
- ・ 標本数：5,000人（回収率61.2%）
- ・ 調査方法：調査員による個別面接聴取
- ・ 調査期間：平成28年8月25日～9月11日

#### <平成26年全国調査>

内閣府大臣官房政府広報室 「女性の活躍推進に関する世論調査」（平成26年）

- ・ 調査対象：全国20歳以上の日本国籍を有する者 5,000人
- ・ 標本数：5,000人（回収率60.7%）
- ・ 調査方法：調査員による個別面接聴取
- ・ 調査期間：平成26年8月28日～9月14日

<平成 29 年県調査>

愛知県政策企画局広報広聴課 「平成 29 年度 第 2 回 県政世論調査」(平成 29 年)

- ・ 調査対象：愛知県内居住の 18 歳以上の男女
- ・ 標本数：3,000 人 (回収率 47.0%)
- ・ 調査方法：郵送法
- ・ 調査期間：平成 29 年 11 月 1 日～11 月 20 日

<平成 26 年県調査>

愛知県知事政策局広報広聴課 「平成 26 年度 第 3 回 県政世論調査」(平成 26 年)

- ・ 調査対象：愛知県内居住の 20 歳以上の男女
- ・ 標本数：3,000 人 (回収率 48.1%)
- ・ 調査方法：郵送法
- ・ 調査期間：平成 26 年 11 月 1 日～11 月 20 日

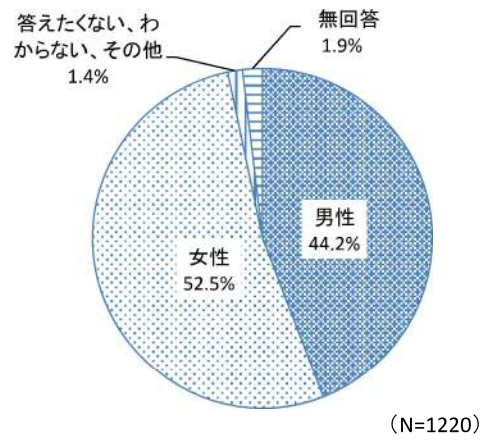
<平成 20 年県調査>

愛知県県民生活部男女共同参画室 「男女共同参画意識に関する調査」(平成 20 年)

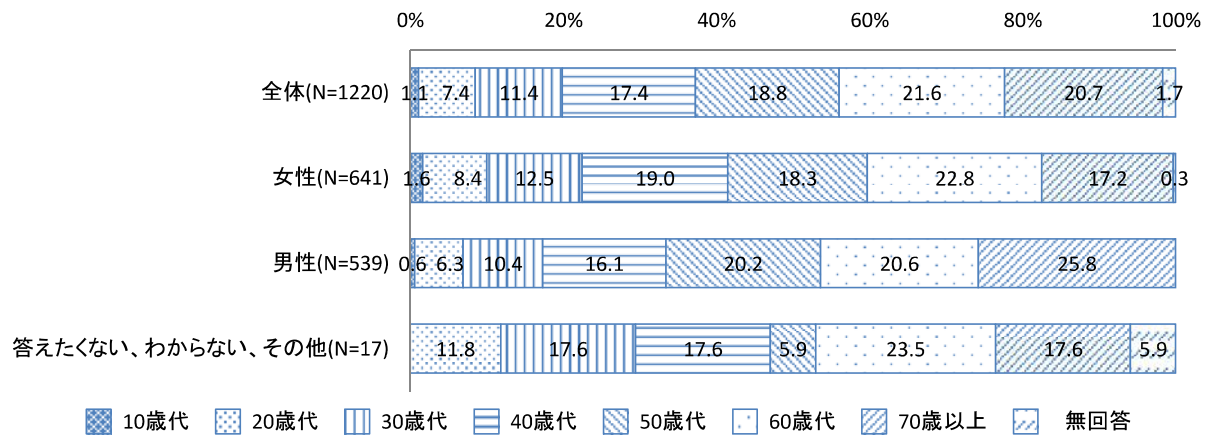
- ・ 調査対象：愛知県内居住の満 20 歳以上の男女
- ・ 標本数：4,000 人 (回収率 53.1%)
- ・ 調査方法：郵送法
- ・ 調査期間：平成 20 年 9 月 1 日～9 月 15 日

## 2章 回答者の属性

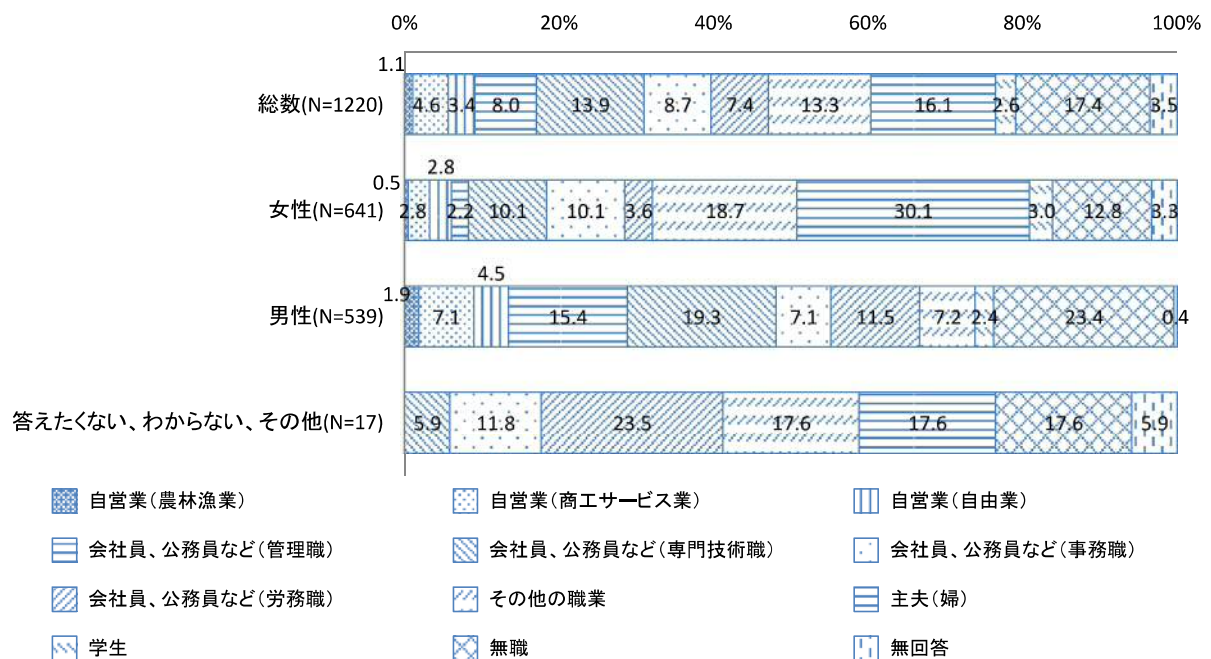
### 1 性別



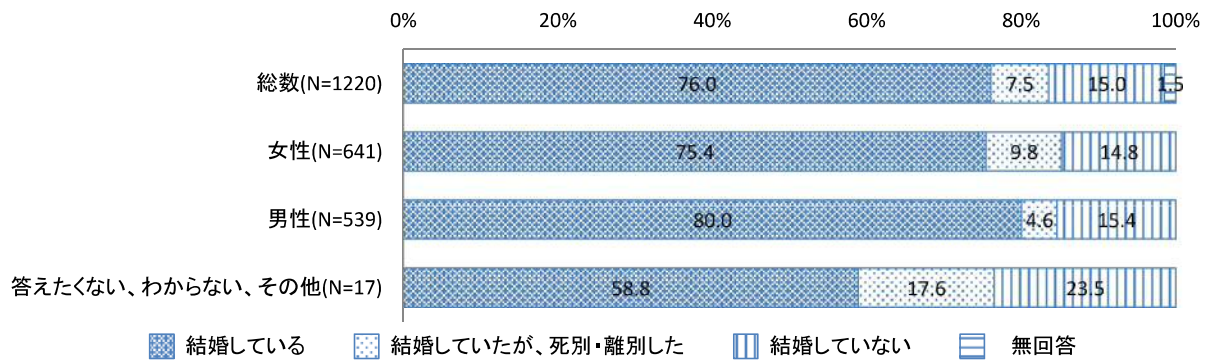
### 2 年齢



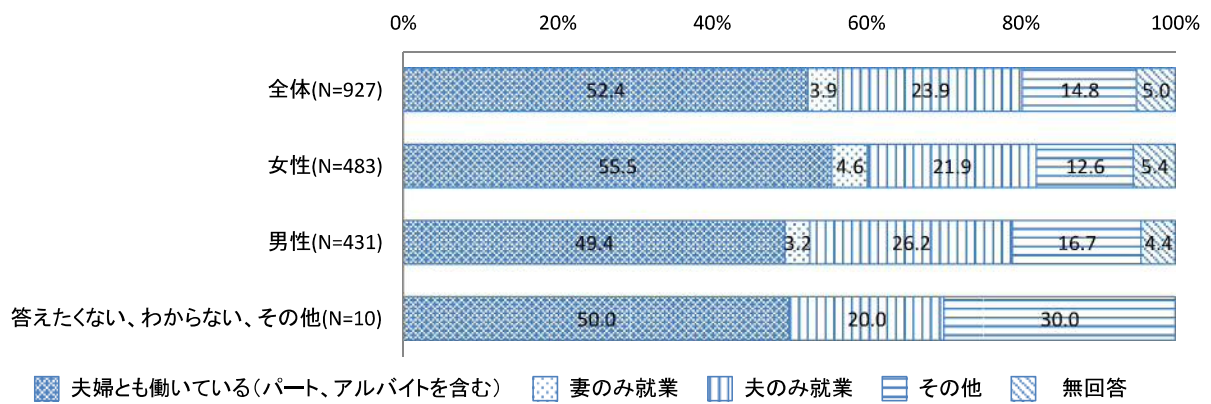
### 3 職業



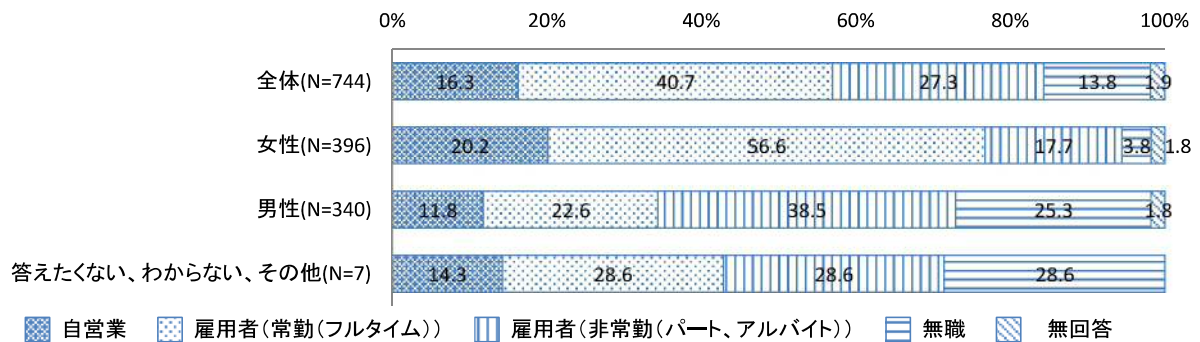
#### 4 未婚・既婚



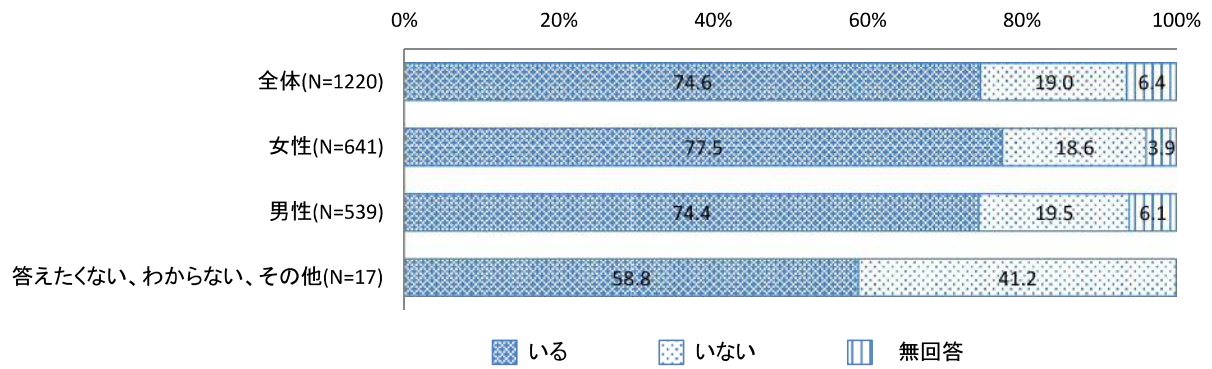
#### 5 共働き状況



#### 6 配偶者の雇用形態

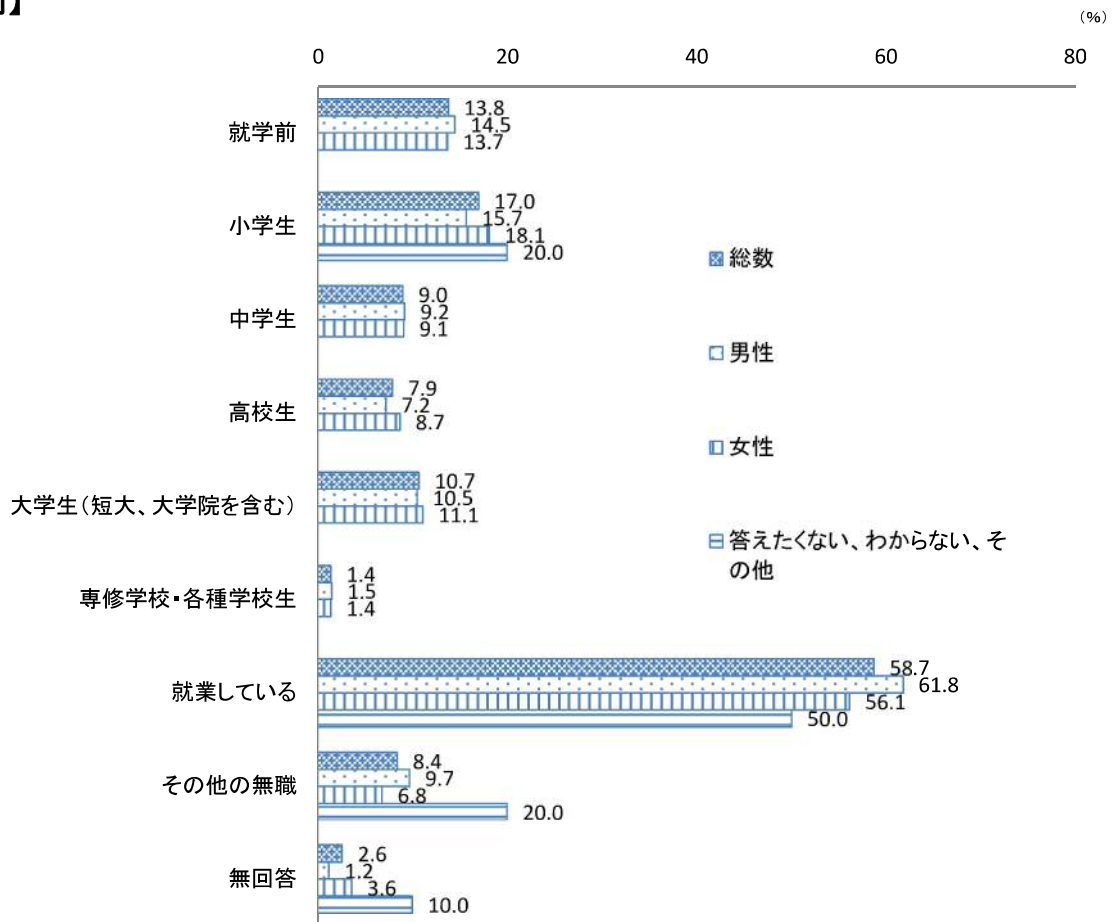


7 子どもの有無



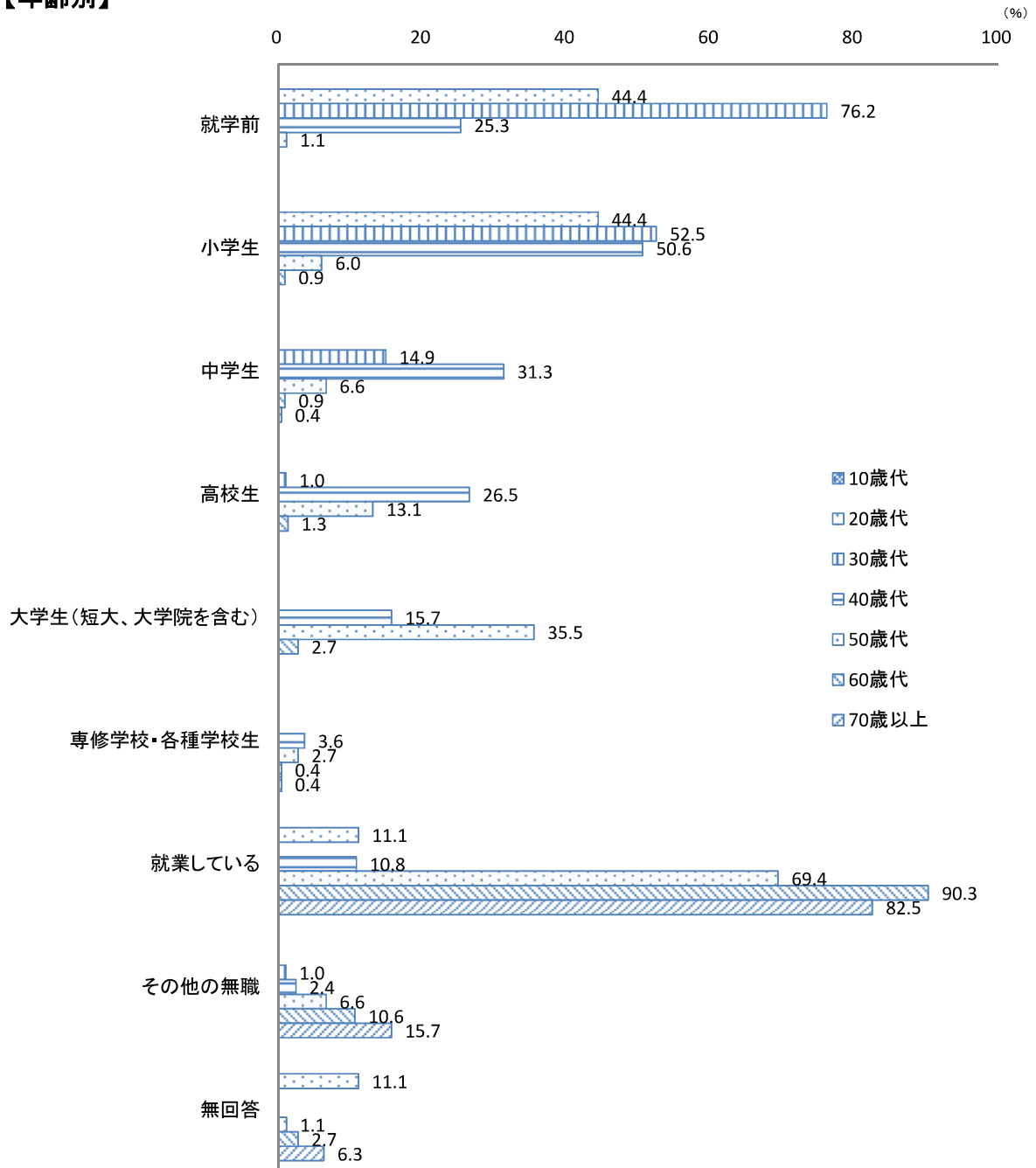
8 子どもの就学状況

【性別】

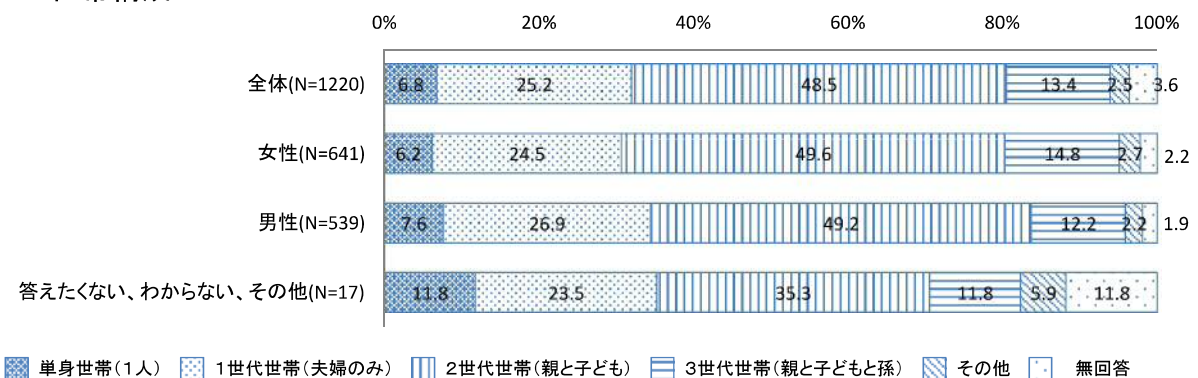




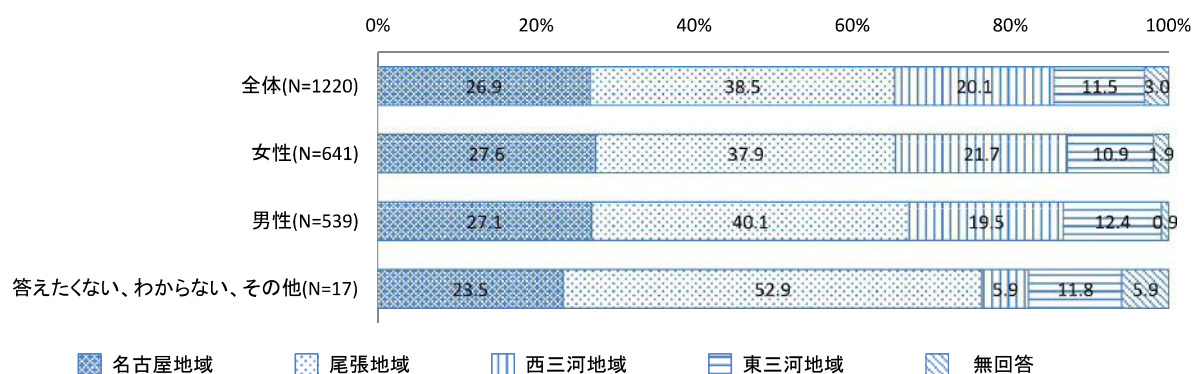
【年齢別】



9 世帯構成



## 10 居住地



## ■各地域の市町村一覧

地域	市町村
1 名古屋地域	名古屋市
2 尾張地域	一宮市・瀬戸市・半田市・春日井市・津島市・犬山市・常滑市・江南市・小牧市・稲沢市・東海市・大府市・知多市・尾張旭市・岩倉市・豊明市・日進市・愛西市・清須市・北名古屋市・弥富市・あま市・長久手市・愛知郡・西春日井郡・丹羽郡・海部郡・知多郡
3 西三河地域	岡崎市・碧南市・刈谷市・豊田市・安城市・西尾市・知立市・高浜市・みよし市・額田郡
4 東三河地域	豊橋市・豊川市・蒲郡市・新城市・田原市・北設楽郡

### 3章 調査結果の分析

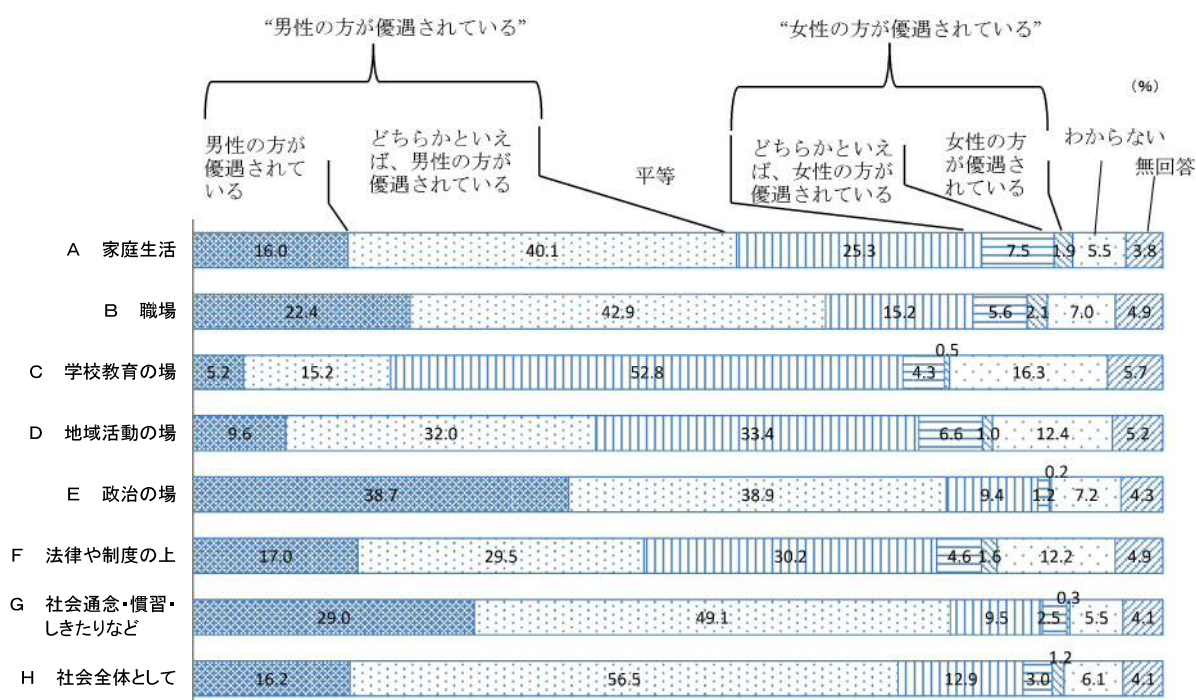
#### <男女平等について>

##### 1 男女の地位の平等感

8つの分野について、“男性の方が優遇されている”（「男性の方が優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」以下同じ）と回答した人の割合は、高い順に「社会通念・慣習・しきたりなど」（78.1%）、「政治の場」（77.6%）、「社会全体として」（72.7%）、「職場」（65.3%）、「家庭生活」（56.1%）、「法律や制度の上」（46.5%）となっている。

また、「平等」と回答した人の割合は、高い順に「学校教育の場」（52.8%）、「地域活動の場」（33.4%）となっている。

図1-1 男女の地位の平等感  
【分野別】



A 「家庭生活」

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 56.1%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 25.3%、“女性の方が優遇されている”（「女性の方が優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」以下同じ）と回答した人の割合は 9.4%と低くなっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(44.6%)より女性(66.1%)の方が高くなっている。反対に、「平等」と回答した人の割合は、女性(19.3%)より男性(33.2%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、20歳代が10歳代を除いた他の年齢層より低くなっている。

図1-2 男女の地位の平等感 (A 家庭生活)

【総数、性別、年齢別】

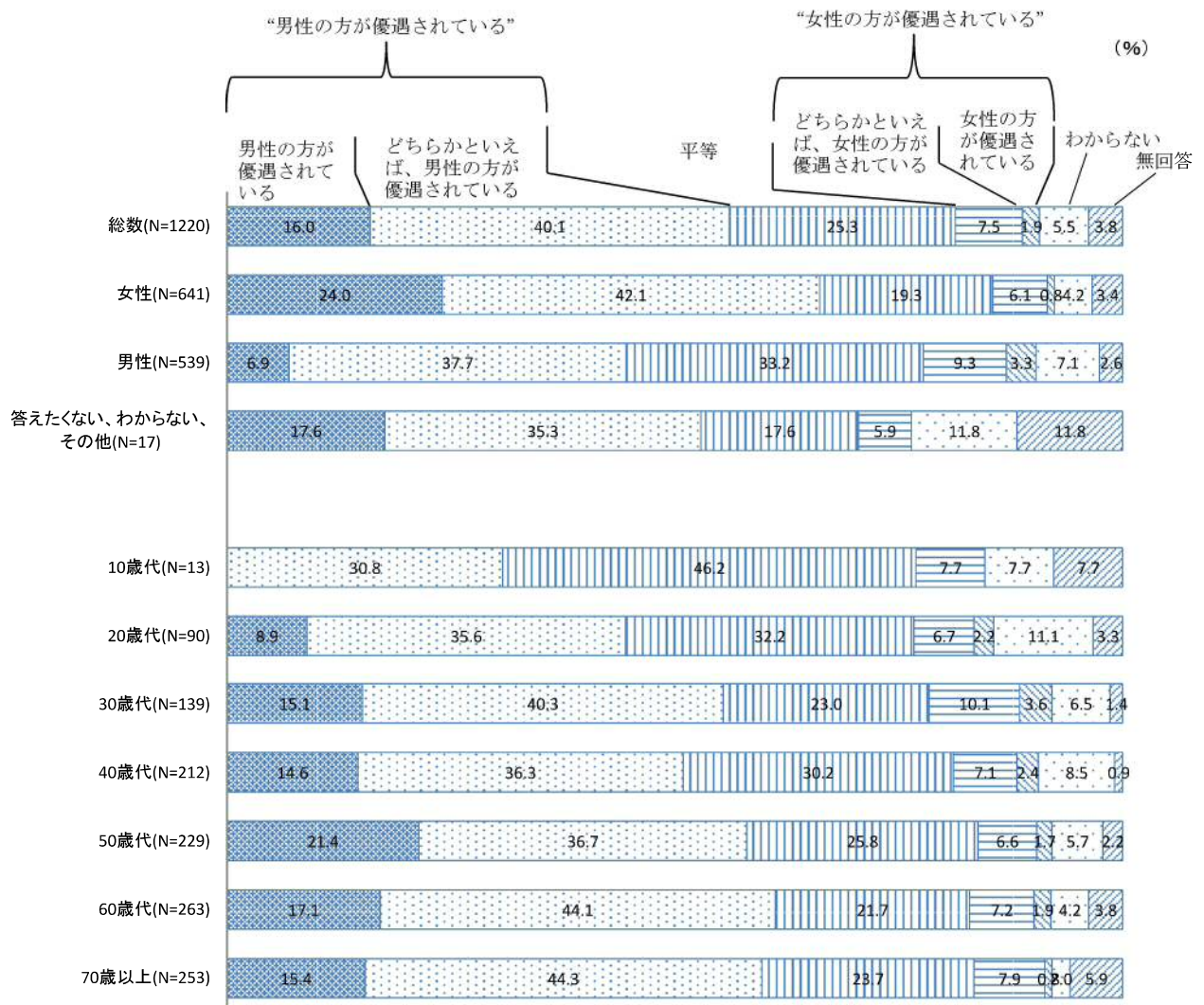




表1-1 男女の地位の平等感（A 家庭生活）【性別・年齢別】

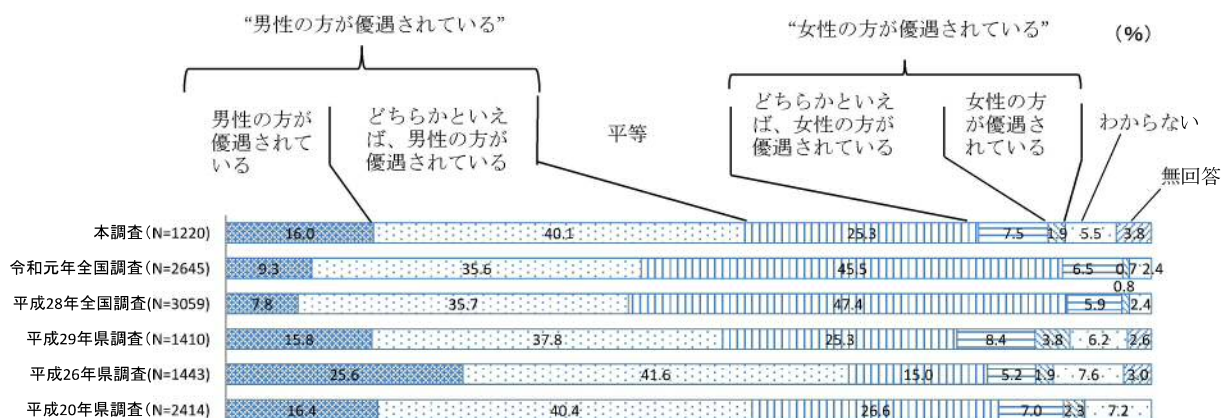
		サンプル数	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇される	平等	どちらかといえば女性の方が優遇される	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
総数		1220	195	489	309	91	23	67	46
		100.0	16.0	40.1	25.3	7.5	1.9	5.5	3.8
性別	女性	641	154	270	124	39	5	27	22
		100.0	24.0	42.1	19.3	6.1	0.8	4.2	3.4
	男性	539	37	203	179	50	18	38	14
		100.0	6.9	37.7	33.2	9.3	3.3	7.1	2.6
	答えたくない、わからない、その他	17	3	6	3	1	-	2	2
		100.0	17.6	35.3	17.6	5.9	-	11.8	11.8
年齢別	10歳代	13	-	4	6	1	-	1	1
		100.0	-	30.8	46.2	7.7	-	7.7	7.7
	20歳代	90	8	32	29	6	2	10	3
		100.0	8.9	35.6	32.2	6.7	2.2	11.1	3.3
	30歳代	139	21	56	32	14	5	9	2
		100.0	15.1	40.3	23.0	10.1	3.6	6.5	1.4
	40歳代	212	31	77	64	15	5	18	2
	100.0	14.6	36.3	30.2	7.1	2.4	8.5	0.9	
50歳代	229	49	84	59	15	4	13	5	
	100.0	21.4	36.7	25.8	6.6	1.7	5.7	2.2	
60歳代	263	45	116	57	19	5	11	10	
	100.0	17.1	44.1	21.7	7.2	1.9	4.2	3.8	
70歳以上	253	39	112	60	20	2	5	15	
	100.0	15.4	44.3	23.7	7.9	0.8	2.0	5.9	

## 【他調査との比較】

令和元年全国調査と比較すると“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は高くなっている。

図1-3 男女の地位の平等感（A 家庭生活）

## 【他調査との比較】



**B 「職場」**

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は65.3%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は15.2%、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は7.7%と低くなっている。

**【性・年齢別】**

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(60.8%)より女性(69.7%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は10歳代を除いては、20歳代(54.5%)で最も低く、60歳代(71.1%)で最も高くなっている。

**図1-4 男女の地位の平等感 (B 職場)**

**【総数、性別、年齢別】**

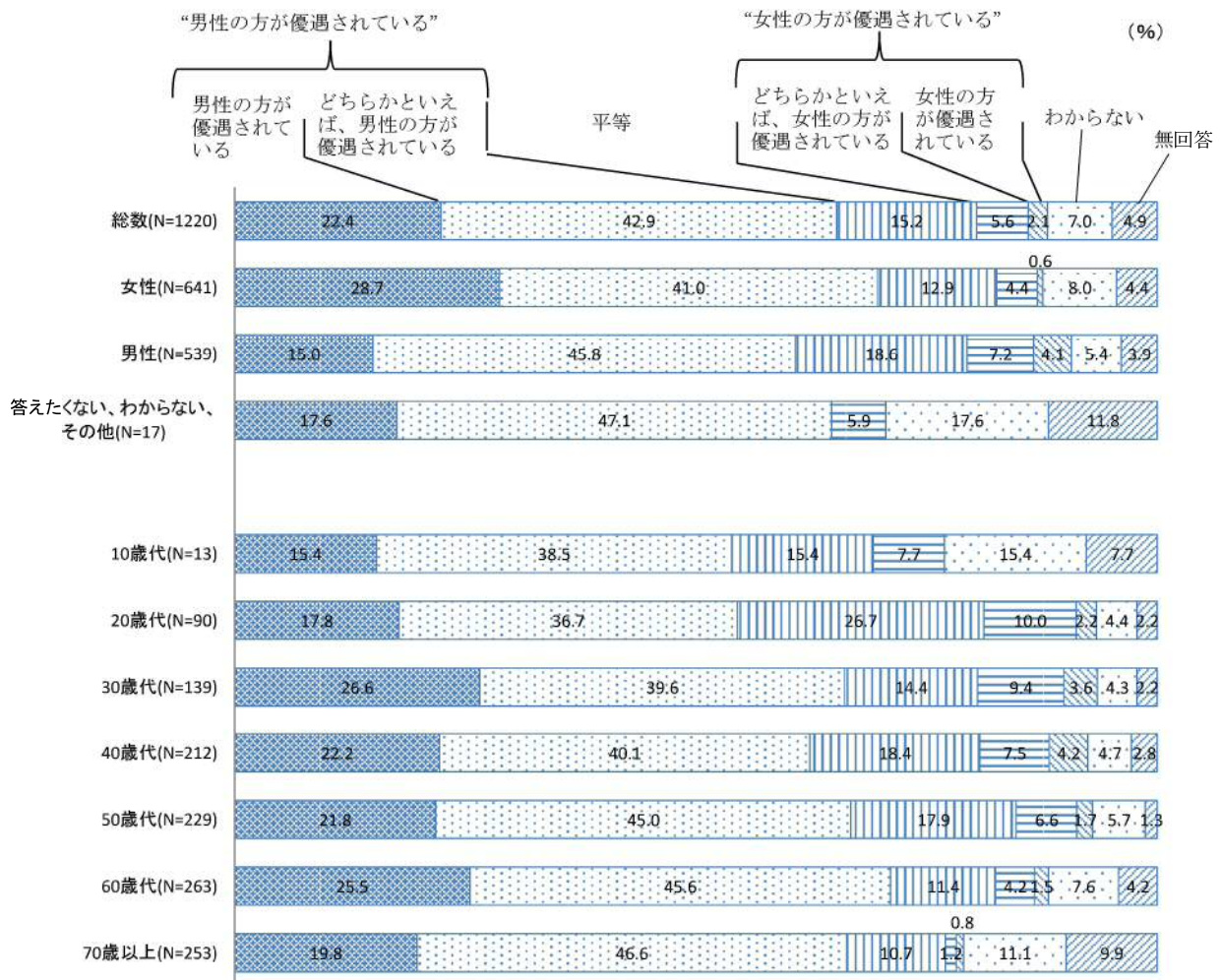


表1-2 男女の地位の平等感（B 職場）【性別・年齢別】

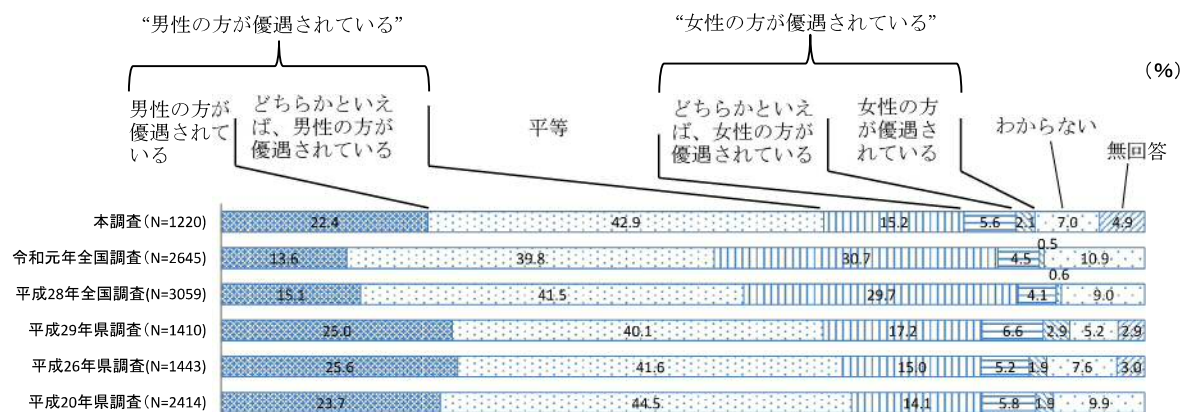
	サンプル数	男性の方が優遇されている	男性のどちらかといえば優遇される	平等	女性のどちらかといえば優遇される	女性の方が優遇されている	わからない	無回答	
総数	1220	273	523	185	68	26	85	60	
	100.0	22.4	42.9	15.2	5.6	2.1	7.0	4.9	
性別	女性	641	184	263	83	28	4	51	28
		100.0	28.7	41.0	12.9	4.4	0.6	8.0	4.4
	男性	539	81	247	100	39	22	29	21
	100.0	15.0	45.8	18.6	7.2	4.1	5.4	3.9	
	17	3	8	-	1	-	3	2	
	100.0	17.6	47.1	-	5.9	-	17.6	11.8	
年齢別	10歳代	13	2	5	2	1	-	2	1
		100.0	15.4	38.5	15.4	7.7	-	15.4	7.7
	20歳代	90	16	33	24	9	2	4	2
		100.0	17.8	36.7	26.7	10.0	2.2	4.4	2.2
	30歳代	139	37	55	20	13	5	6	3
		100.0	26.6	39.6	14.4	9.4	3.6	4.3	2.2
	40歳代	212	47	85	39	16	9	10	6
	100.0	22.2	40.1	18.4	7.5	4.2	4.7	2.8	
50歳代	229	50	103	41	15	4	13	3	
	100.0	21.8	45.0	17.9	6.6	1.7	5.7	1.3	
60歳代	263	67	120	30	11	4	20	11	
	100.0	25.5	45.6	11.4	4.2	1.5	7.6	4.2	
70歳以上	253	50	118	27	3	2	28	25	
	100.0	19.8	46.6	10.7	1.2	0.8	11.1	9.9	

## 【他調査との比較】

令和元年全国調査と比較すると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は高くなっており、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。

図1-5 男女の地位の平等感（B 職場）

## 【他調査との比較】





C 「学校教育の場」

「平等」と回答した人の割合は 52.8%と高くなっている。また、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 20.4%、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 4.8%と低くなっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(15.4%)より女性(24.8%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、「平等」と回答した人の割合は、20歳代が67.8%と最も高くなっている。

図1-6 男女の地位の平等感 (C 学校教育の場)

【総数、性別、年齢別】

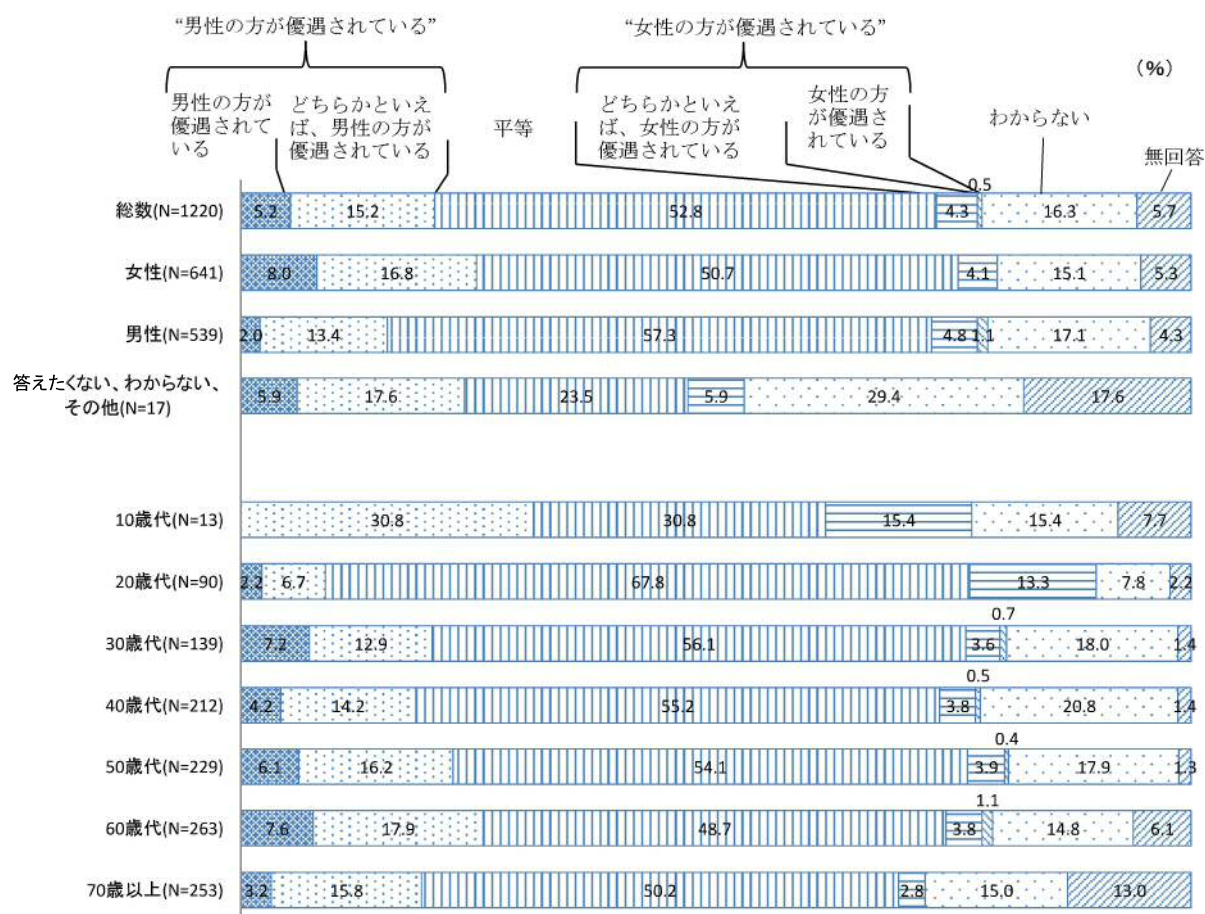




表1-3 男女の地位の平等感（C 学校教育の場）【性別・年齢別】

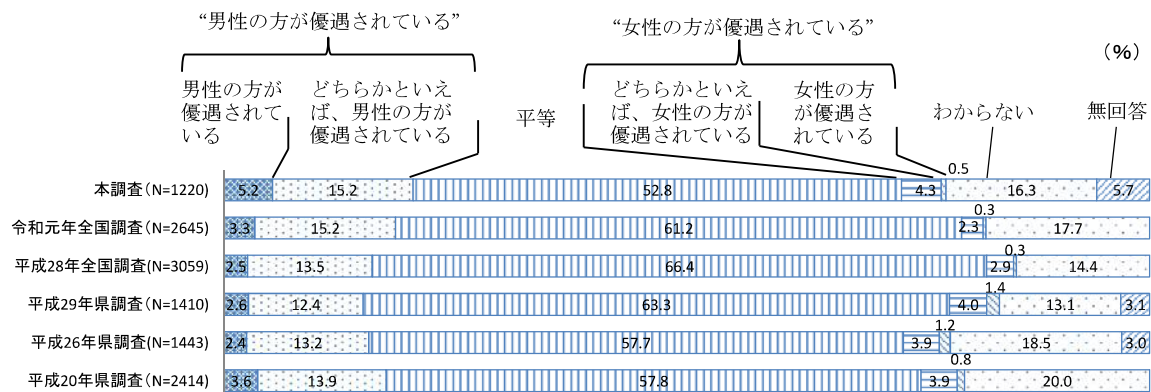
		サンプル数	男性の方が優遇されている	男性のどちらかといえば優遇され	平等	女性のどちらかといえば優遇され	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
総数		1220	64	185	644	53	6	199	69
		100.0	5.2	15.2	52.8	4.3	0.5	16.3	5.7
性別	女性	641	51	108	325	26	-	97	34
		100.0	8.0	16.8	50.7	4.1	-	15.1	5.3
	男性	539	11	72	309	26	6	92	23
		100.0	2.0	13.4	57.3	4.8	1.1	17.1	4.3
	答えたくない、わからない、その他	17	1	3	4	1	-	5	3
		100.0	5.9	17.6	23.5	5.9	-	29.4	17.6
年齢別	10歳代	13	-	4	4	2	-	2	1
		100.0	-	30.8	30.8	15.4	-	15.4	7.7
	20歳代	90	2	6	61	12	-	7	2
		100.0	2.2	6.7	67.8	13.3	-	7.8	2.2
	30歳代	139	10	18	78	5	1	25	2
		100.0	7.2	12.9	56.1	3.6	0.7	18.0	1.4
	40歳代	212	9	30	117	8	1	44	3
	100.0	4.2	14.2	55.2	3.8	0.5	20.8	1.4	
50歳代	229	14	37	124	9	1	41	3	
	100.0	6.1	16.2	54.1	3.9	0.4	17.9	1.3	
60歳代	263	20	47	128	10	3	39	16	
	100.0	7.6	17.9	48.7	3.8	1.1	14.8	6.1	
70歳以上	253	8	40	127	7	-	38	33	
	100.0	3.2	15.8	50.2	2.8	-	15.0	13.0	

【他調査との比較】

他調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合は最も低くなっている。

図1-7 男女の地位の平等（C 学校教育の場）

【他調査との比較】



D 「地域活動の場」

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 41.6%と高く、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 7.6%と低くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 33.4%となっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(35.1%)より女性(47.4%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、70歳以上が 48.1%で最も高く、次いで 60歳代(45.3%)、50歳代(41.5%)の順となっている。

図 1-8 男女の地位の平等感 (D 地域活動の場)

【総数、性別、年齢別】

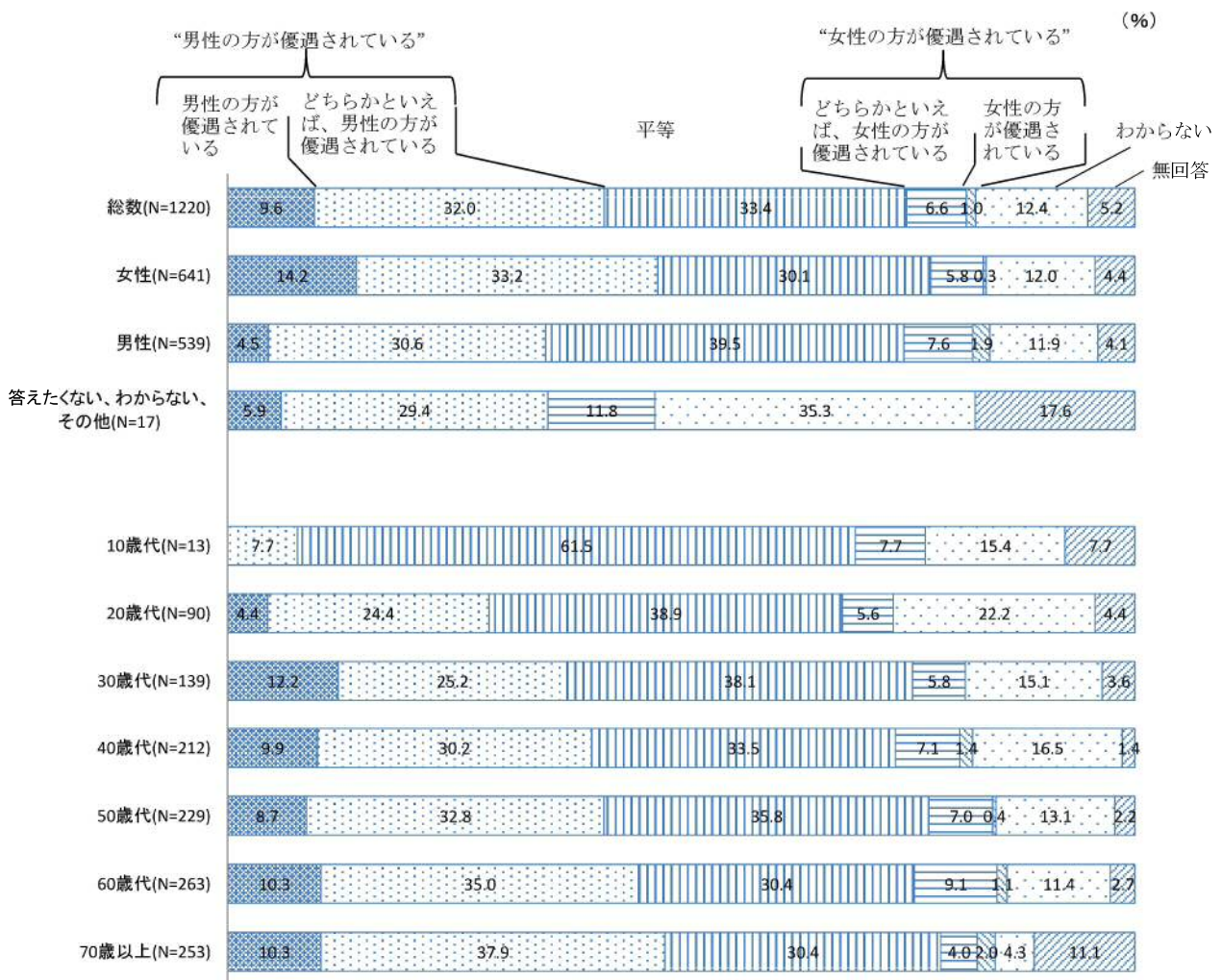


表1-4 男女の地位の平等感（D 地域活動の場） 【性別・年齢別】

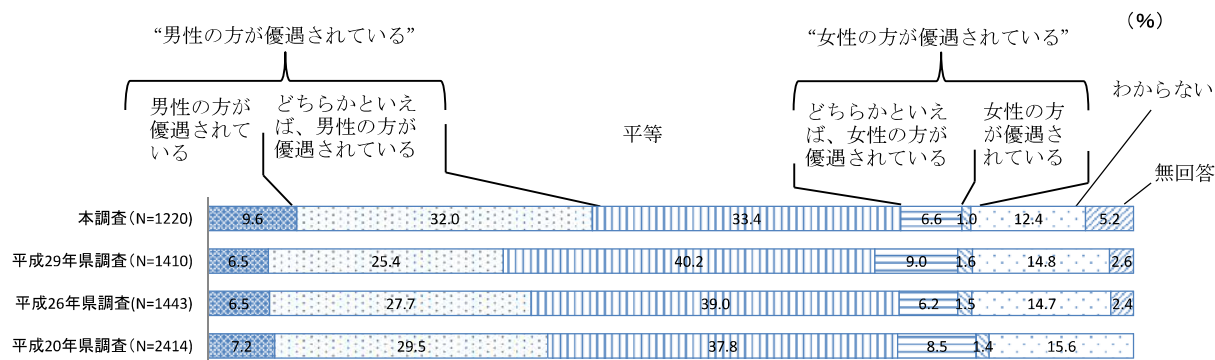
		サンプル数	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
総数		1220	117	390	407	80	12	151	63
		100.0	9.6	32.0	33.4	6.6	1.0	12.4	5.2
性別	女性	641	91	213	193	37	2	77	28
		100.0	14.2	33.2	30.1	5.8	0.3	12.0	4.4
	男性	539	24	165	213	41	10	64	22
	100.0	4.5	30.6	39.5	7.6	1.9	11.9	4.1	
	答えたくない、わからない、その他	17	1	5	-	2	-	6	3
		100.0	5.9	29.4	-	11.8	-	35.3	17.6
年齢別	10歳代	13	-	1	8	1	-	2	1
		100.0	-	7.7	61.5	7.7	-	15.4	7.7
	20歳代	90	4	22	35	5	-	20	4
		100.0	4.4	24.4	38.9	5.6	-	22.2	4.4
	30歳代	139	17	35	53	8	-	21	5
		100.0	12.2	25.2	38.1	5.8	-	15.1	3.6
	40歳代	212	21	64	71	15	3	35	3
	100.0	9.9	30.2	33.5	7.1	1.4	16.5	1.4	
50歳代	229	20	75	82	16	1	30	5	
	100.0	8.7	32.8	35.8	7.0	0.4	13.1	2.2	
60歳代	263	27	92	80	24	3	30	7	
	100.0	10.3	35.0	30.4	9.1	1.1	11.4	2.7	
70歳以上	253	26	96	77	10	5	11	28	
	100.0	10.3	37.9	30.4	4.0	2.0	4.3	11.1	

【他調査との比較】

他調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は最も高くなっている。

図1-9 男女の地位の平等感（D 地域活動の場）

【他調査との比較】



E 「政治の場」

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 77.6%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 9.4%、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 1.4%と低くなっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(73.7%)より女性(82.7%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、30歳代(83.4%)、40歳代(82.1%)、60歳代(80.6%)で8割超と高くなっている。

図1-10 男女の地位の平等感 (E 政治の場)

【総数、性別、年齢別】

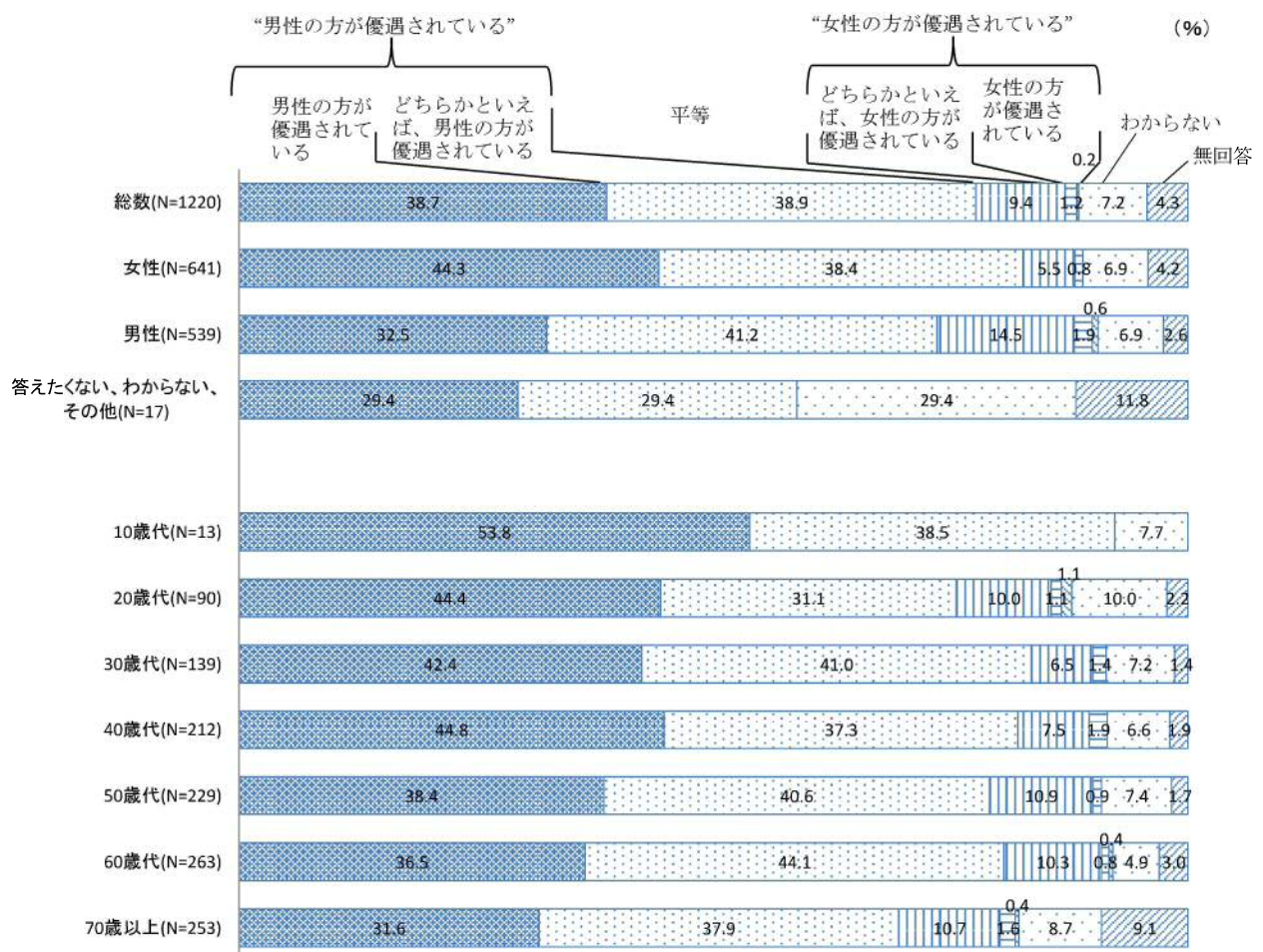




表1-5 男女の地位の平等感（E 政治の場）【性別・年齢別】

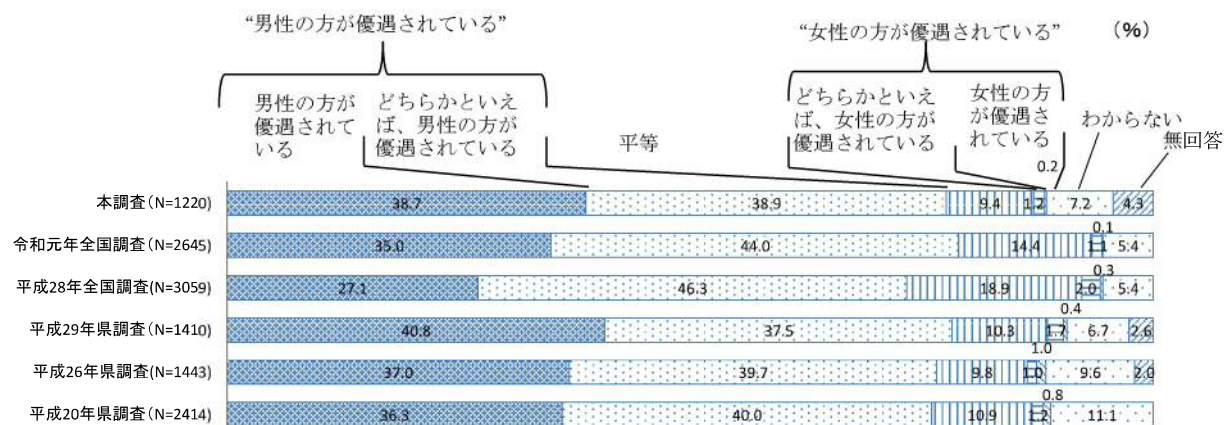
		サンプル数	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇され、どちらかといえば、男性の方が優遇されている	平等	女性の方が優遇されている	女性の方が優遇され、どちらかといえば、女性の方が優遇されている	わからない	無回答
総数		1220	472	475	115	15	3	88	52
		100.0	38.7	38.9	9.4	1.2	0.2	7.2	4.3
性別	女性	641	284	246	35	5	-	44	27
		100.0	44.3	38.4	5.5	0.8	-	6.9	4.2
	男性	539	175	222	78	10	3	37	14
	100.0	32.5	41.2	14.5	1.9	0.6	6.9	2.6	
	答えたくない、わからない、その他	17	5	5	-	-	-	5	2
		100.0	29.4	29.4	-	-	-	29.4	11.8
年齢別	10歳代	13	7	5	-	-	-	1	-
		100.0	53.8	38.5	-	-	-	7.7	-
	20歳代	90	40	28	9	1	1	9	2
		100.0	44.4	31.1	10.0	1.1	1.1	10.0	2.2
	30歳代	139	59	57	9	2	-	10	2
		100.0	42.4	41.0	6.5	1.4	-	7.2	1.4
	40歳代	212	95	79	16	4	-	14	4
	100.0	44.8	37.3	7.5	1.9	-	6.6	1.9	
50歳代	229	88	93	25	2	-	17	4	
	100.0	38.4	40.6	10.9	0.9	-	7.4	1.7	
60歳代	263	96	116	27	2	1	13	8	
	100.0	36.5	44.1	10.3	0.8	0.4	4.9	3.0	
70歳以上	253	80	96	27	4	1	22	23	
	100.0	31.6	37.9	10.7	1.6	0.4	8.7	9.1	

## 【他調査との比較】

令和元年全国調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。

図1-11 男女の地位の平等感（E 政治の場）

## 【他調査との比較】



F 「法律や制度の上」

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 46.5%と最も高くなっており、次いで「平等」が 30.2%となっている。また、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 6.2%と低くなっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(34.5%)より女性(57.4%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、40歳代(49.1%)、50歳代(54.2%)、60歳代(52.1%)で高くなっている。

図 1-12 男女の地位の平等感 (F 法律や制度の上)

【総数、性別、年齢別、地域別】

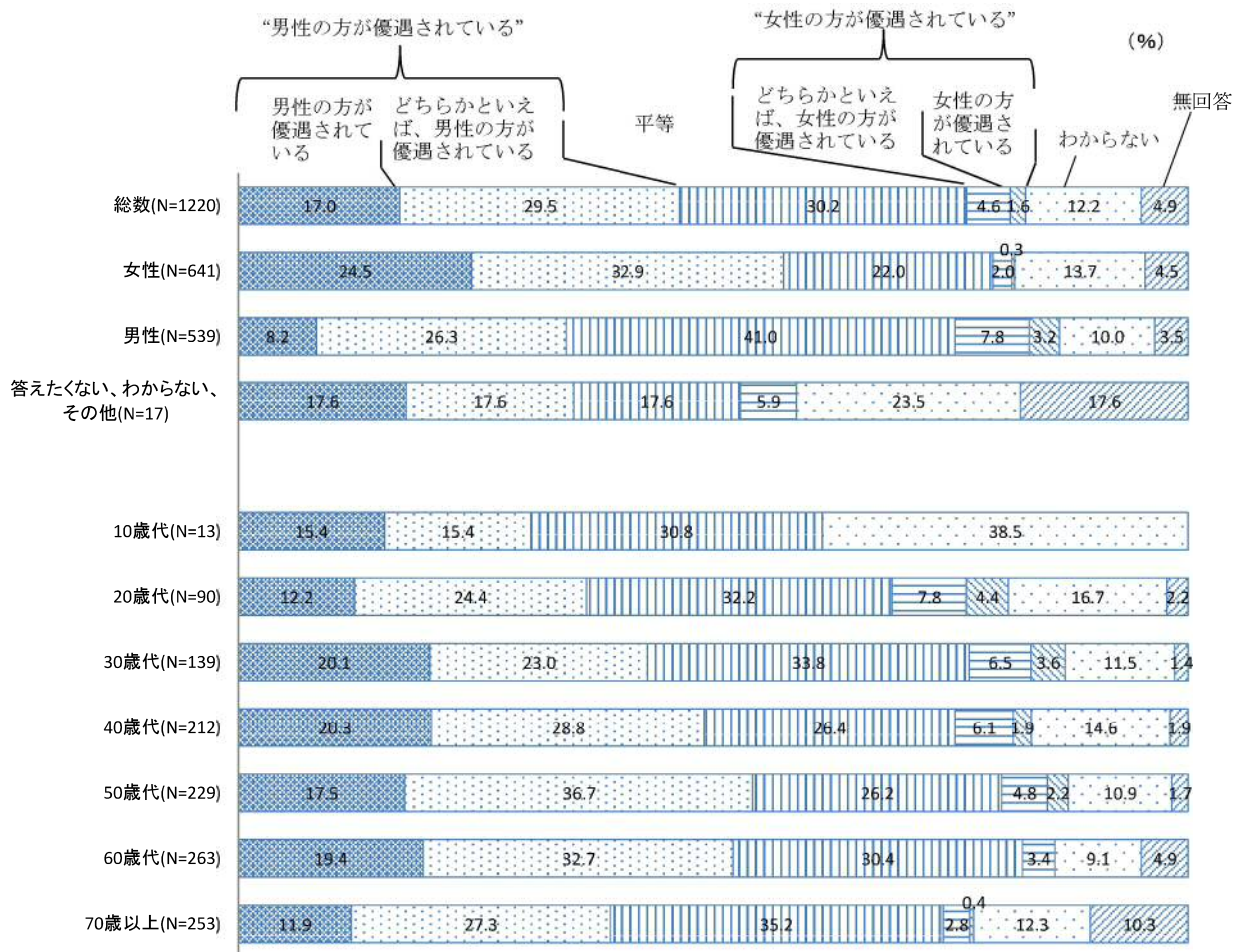


表1-6 男女の地位の平等感（F 法律や制度の上）【性別・年齢別】

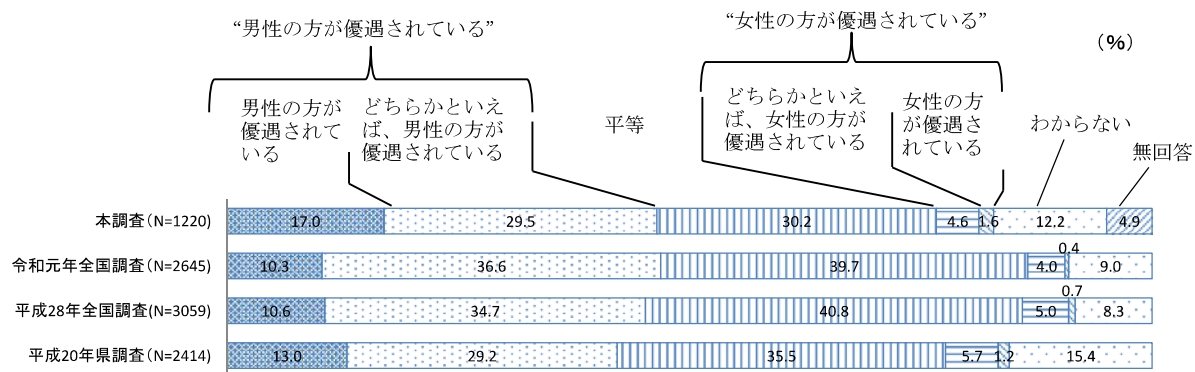
		サンプル数	男性の方が優遇されている	男性の方が優遇され、どちらかといえば	平等	女性の方が優遇されている	女性の方が優遇され、どちらかといえば	わからない	無回答
総数		1220	208	360	368	56	19	149	60
		100.0	17.0	29.5	30.2	4.6	1.6	12.2	4.9
性別	女性	641	157	211	141	13	2	88	29
		100.0	24.5	32.9	22.0	2.0	0.3	13.7	4.5
	男性	539	44	142	221	42	17	54	19
	100.0	8.2	26.3	41.0	7.8	3.2	10.0	3.5	
	答えたくない、わからない、その他	17	3	3	3	1	-	4	3
		100.0	17.6	17.6	17.6	5.9	-	23.5	17.6
年齢別	10歳代	13	2	2	4	-	-	5	-
		100.0	15.4	15.4	30.8	-	-	38.5	-
	20歳代	90	11	22	29	7	4	15	2
		100.0	12.2	24.4	32.2	7.8	4.4	16.7	2.2
	30歳代	139	28	32	47	9	5	16	2
		100.0	20.1	23.0	33.8	6.5	3.6	11.5	1.4
	40歳代	212	43	61	56	13	4	31	4
	100.0	20.3	28.8	26.4	6.1	1.9	14.6	1.9	
50歳代	229	40	84	60	11	5	25	4	
	100.0	17.5	36.7	26.2	4.8	2.2	10.9	1.7	
60歳代	263	51	86	80	9	-	24	13	
	100.0	19.4	32.7	30.4	3.4	-	9.1	4.9	
70歳以上	253	30	69	89	7	1	31	26	
	100.0	11.9	27.3	35.2	2.8	0.4	12.3	10.3	

【他調査との比較】

令和元年全国調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。

図1-13 男女の地位の平等感（F 法律や制度の上）

【他調査との比較】



**G 社会通念・慣習・しきたりなど**

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 78.1%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 9.5%、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 2.8%と低くなっている。

**【性・年齢別】**

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、男性(72.7%)より女性(84.1%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は、40歳代(83.0%)、50歳代(79.9%)、60歳代(86.7%)で高くなっている。

**図1-14 男女の地位の平等感（G 社会通念・慣習・しきたりなど）**

**【総数、性別、年齢別】**

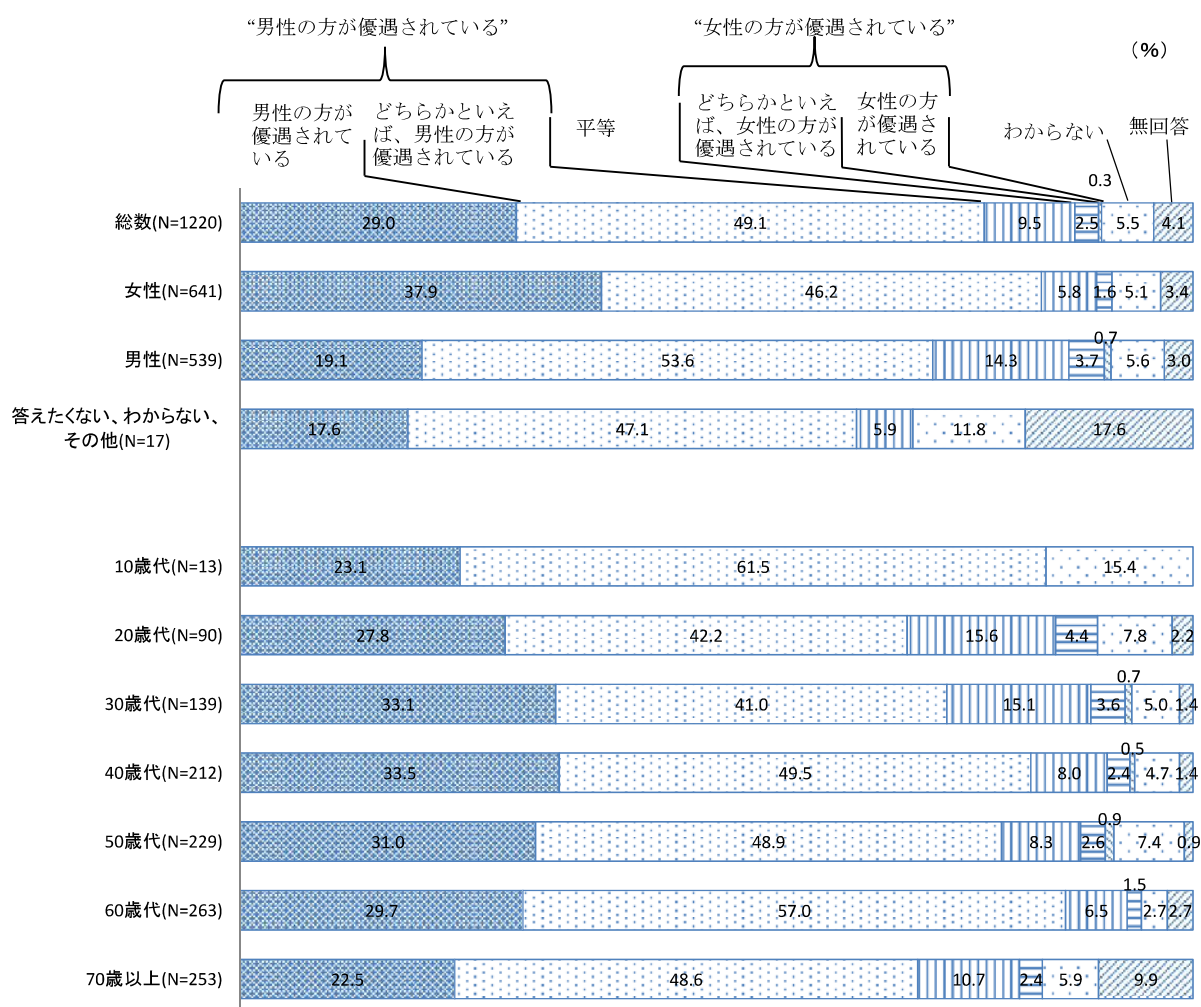




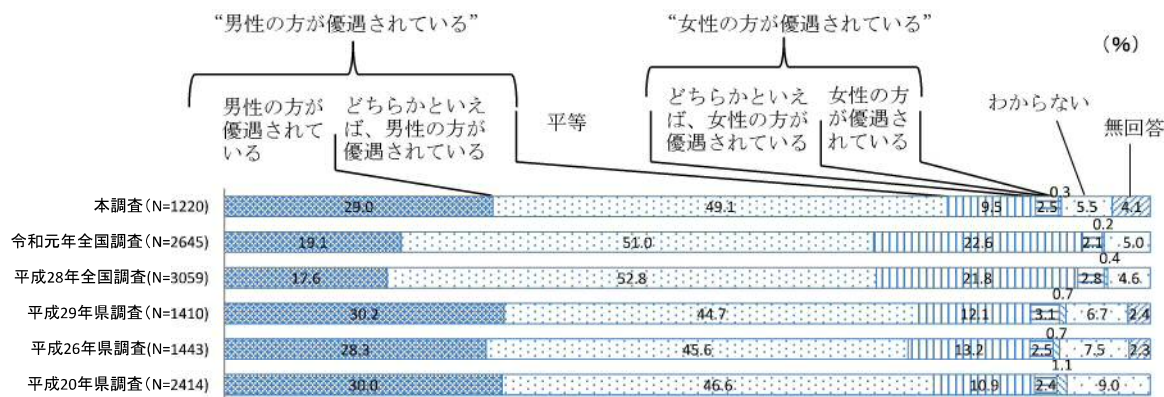
表1-7 男女の地位の平等感（G 社会通念・慣習・しきたりなど）【性別・年齢別】

		サンプル数	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇される	平等	どちらかといえば女性の方が優遇される	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
総数		1220	354	599	116	30	4	67	50
		100.0	29.0	49.1	9.5	2.5	0.3	5.5	4.1
性別	女性	641	243	296	37	10	-	33	22
		100.0	37.9	46.2	5.8	1.6	-	5.1	3.4
	男性	539	103	289	77	20	4	30	16
		100.0	19.1	53.6	14.3	3.7	0.7	5.6	3.0
	答えたくない、わからない、その他	17	3	8	1	-	-	2	3
		100.0	17.6	47.1	5.9	-	-	11.8	17.6
年齢別	10歳代	13	3	8	-	-	-	2	-
		100.0	23.1	61.5	-	-	-	15.4	-
	20歳代	90	25	38	14	4	-	7	2
		100.0	27.8	42.2	15.6	4.4	-	7.8	2.2
	30歳代	139	46	57	21	5	1	7	2
		100.0	33.1	41.0	15.1	3.6	0.7	5.0	1.4
	40歳代	212	71	105	17	5	1	10	3
	100.0	33.5	49.5	8.0	2.4	0.5	4.7	1.4	
50歳代	229	71	112	19	6	2	17	2	
	100.0	31.0	48.9	8.3	2.6	0.9	7.4	0.9	
60歳代	263	78	150	17	4	-	7	7	
	100.0	29.7	57.0	6.5	1.5	-	2.7	2.7	
70歳以上	253	57	123	27	6	-	15	25	
	100.0	22.5	48.6	10.7	2.4	-	5.9	9.9	

【他調査との比較】

平成29年県調査と比較すると、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は高くなっており、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。

図1-15 男女の地位の平等感（G 社会通念・慣習・しきたりなど）  
【他調査との比較】



## H 社会全体として

“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 72.7%と高くなっている。また、「平等」と回答した人の割合は 12.9%、“女性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 4.2%と低くなっている。

### 【性・年齢別】

性別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は男性(66.6%)より女性(79.4%)の方が高くなっている。

年齢別に見ると、“男性の方が優遇されている”と回答した人の割合は 20 歳代では 56.6%と、他の年齢層に比べ低くなっている。

図 1-16 男女の地位の平等感 (H 社会全体として)

【総数、性別、年齢別】

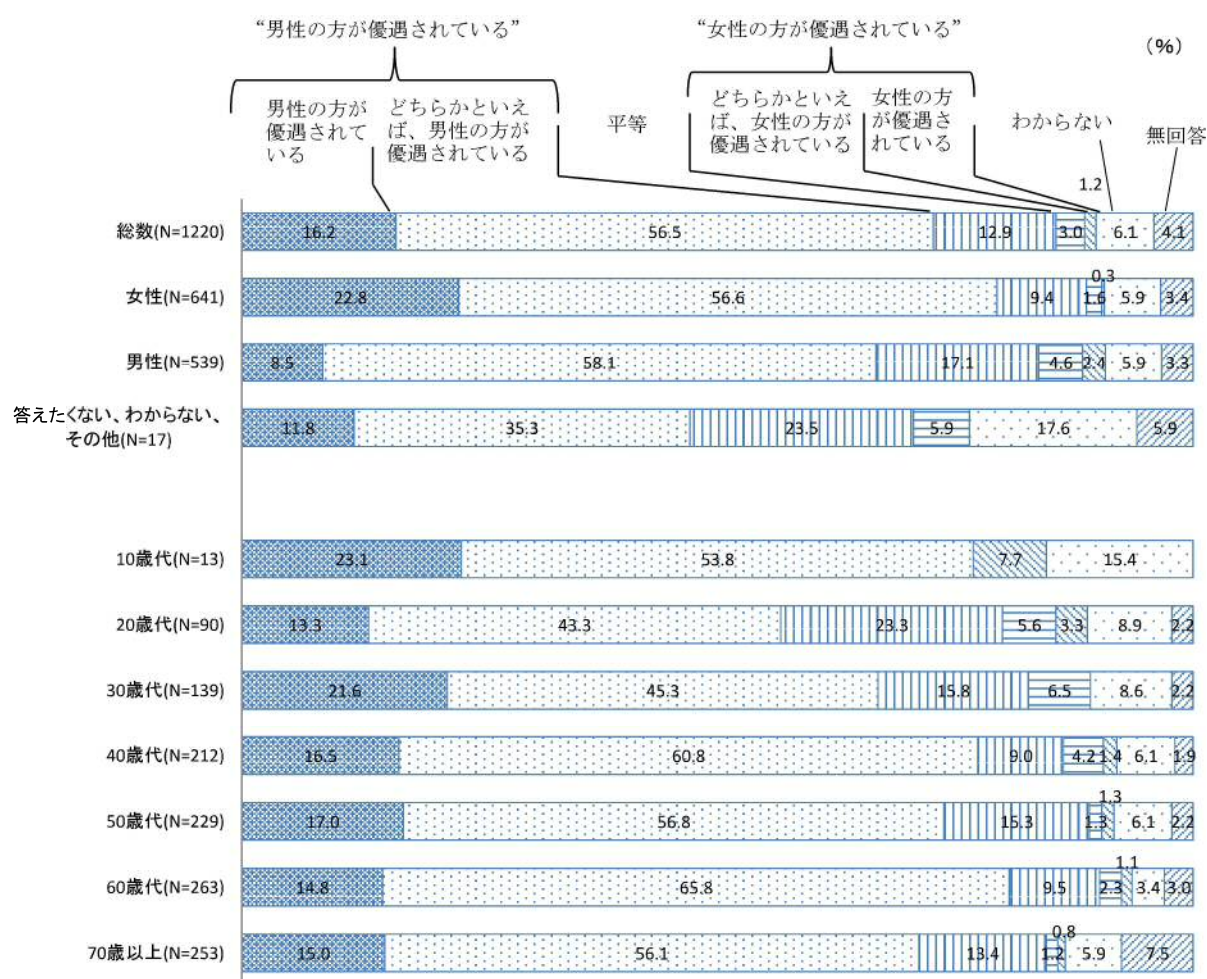


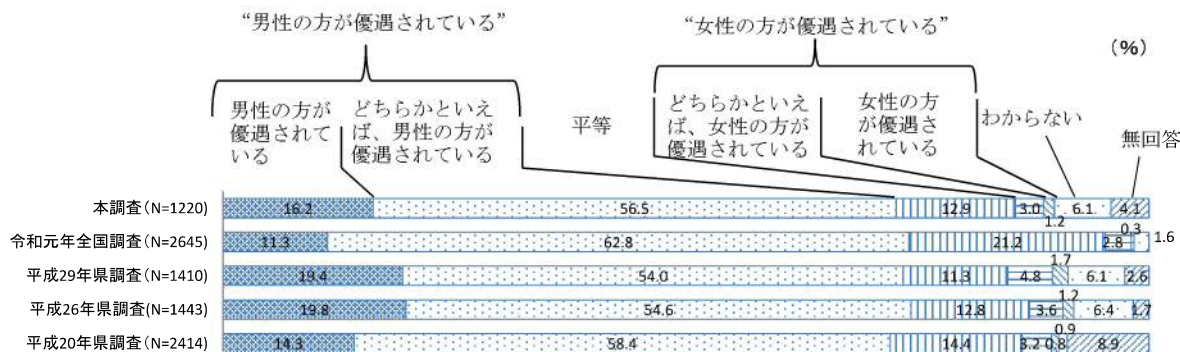
表1-8 男女の地位の平等感（H 社会全体として）【性別・年齢別】

		サンプル数	男性の方が優遇されている	どちらの方が優遇され、 て男性の方が優遇され	平等	どちらの方が優遇され、 て女性の方が優遇され	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
総数		1220	198	689	157	36	15	75	50
		100.0	16.2	56.5	12.9	3.0	1.2	6.1	4.1
性別	女性	641	146	363	60	10	2	38	22
		100.0	22.8	56.6	9.4	1.6	0.3	5.9	3.4
	男性	539	46	313	92	25	13	32	18
	100.0	8.5	58.1	17.1	4.6	2.4	5.9	3.3	
	答えたくない、わからない、その他	17	2	6	4	1	-	3	1
		100.0	11.8	35.3	23.5	5.9	-	17.6	5.9
年齢別	10歳代	13	3	7	-	-	1	2	-
		100.0	23.1	53.8	-	-	7.7	15.4	-
	20歳代	90	12	39	21	5	3	8	2
		100.0	13.3	43.3	23.3	5.6	3.3	8.9	2.2
	30歳代	139	30	63	22	9	-	12	3
		100.0	21.6	45.3	15.8	6.5	-	8.6	2.2
	40歳代	212	35	129	19	9	3	13	4
	100.0	16.5	60.8	9.0	4.2	1.4	6.1	1.9	
50歳代	229	39	130	35	3	3	14	5	
	100.0	17.0	56.8	15.3	1.3	1.3	6.1	2.2	
60歳代	263	39	173	25	6	3	9	8	
	100.0	14.8	65.8	9.5	2.3	1.1	3.4	3.0	
70歳以上	253	38	142	34	3	2	15	19	
	100.0	15.0	56.1	13.4	1.2	0.8	5.9	7.5	

【他調査との比較】

令和元年全国調査と比較すると、「平等」と回答した人の割合は低くなっている。

図1-17 男女の地位の平等感（H 社会全体として）  
【他調査との比較】



## 2 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要なこと（複数回答）

「女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める」と回答した人の割合が55.8%と最も高く、次いで「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」（42.8%）、「学校教育や社会教育、生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力について学習する」（41.5%）の順となっている。

### 【性・年齢別】

性別に見ると、ほとんどの項目で回答した人の割合は男性より女性の方が高く、特に「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図る」と回答した人の割合は、女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、10歳代を除く、いずれの年齢層でも「女性を取り巻くさまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりなどを改める」が最も高くなっている。

図2-1 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要なこと  
【総数、性別】

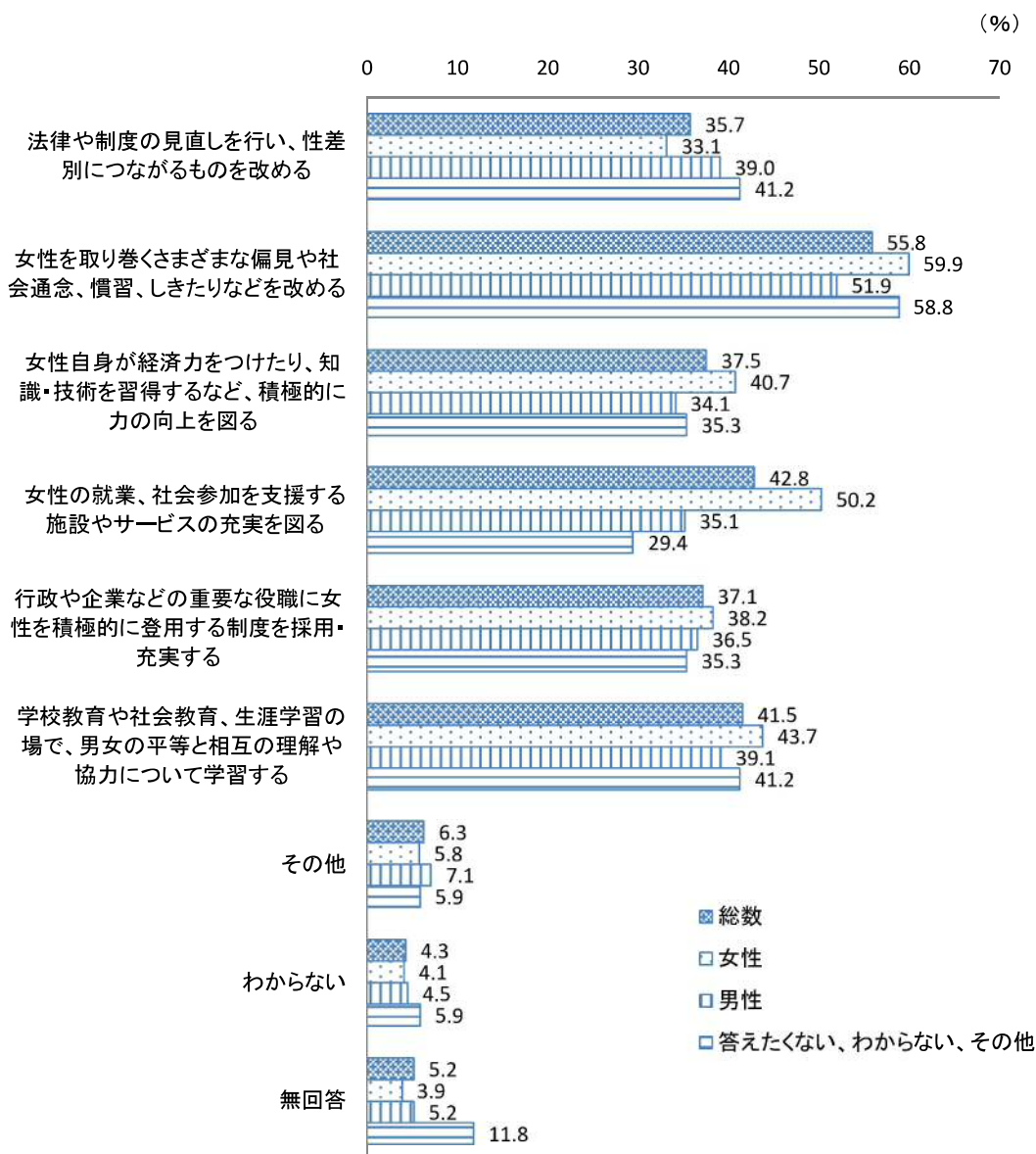
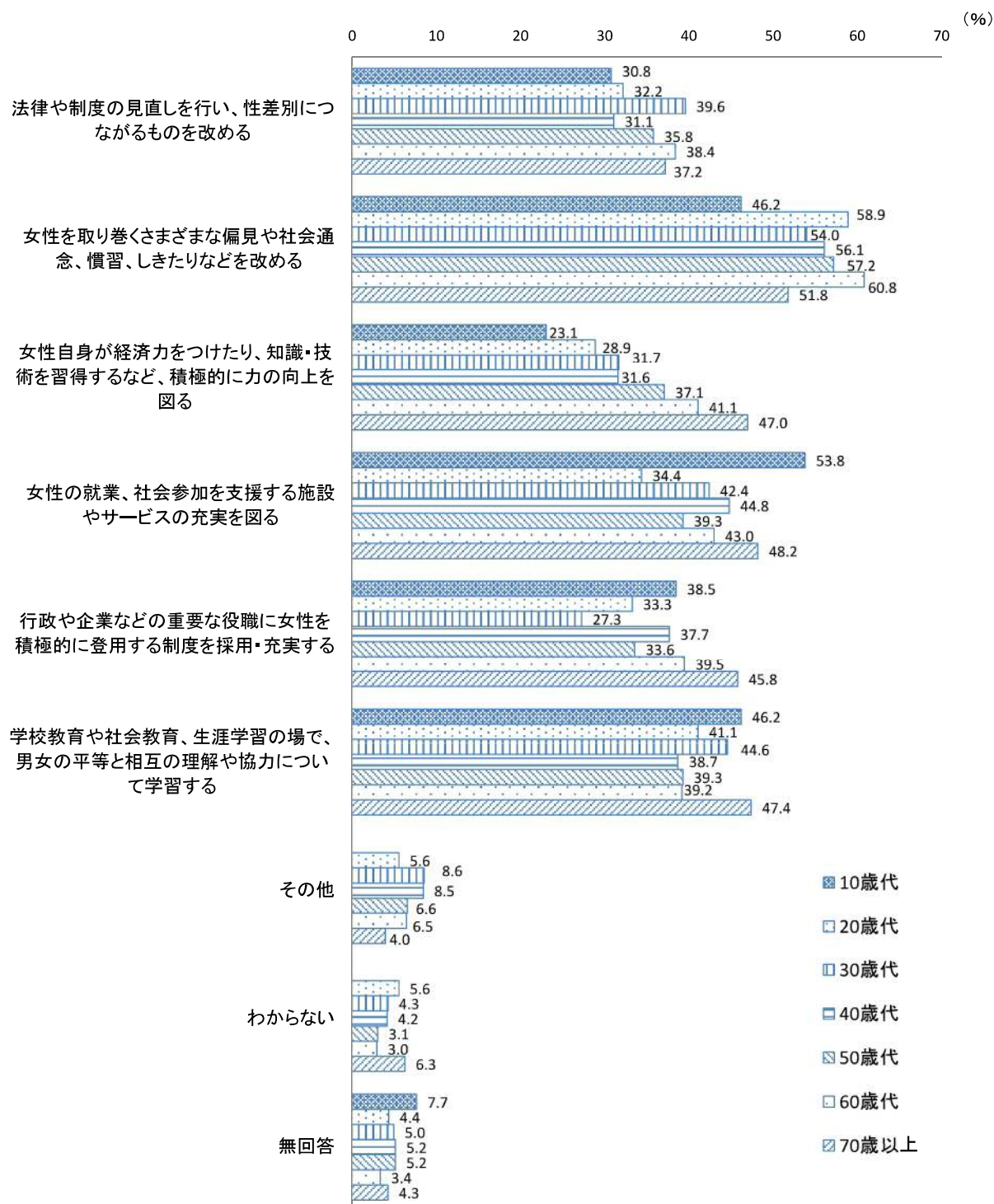




図2-2 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要なこと

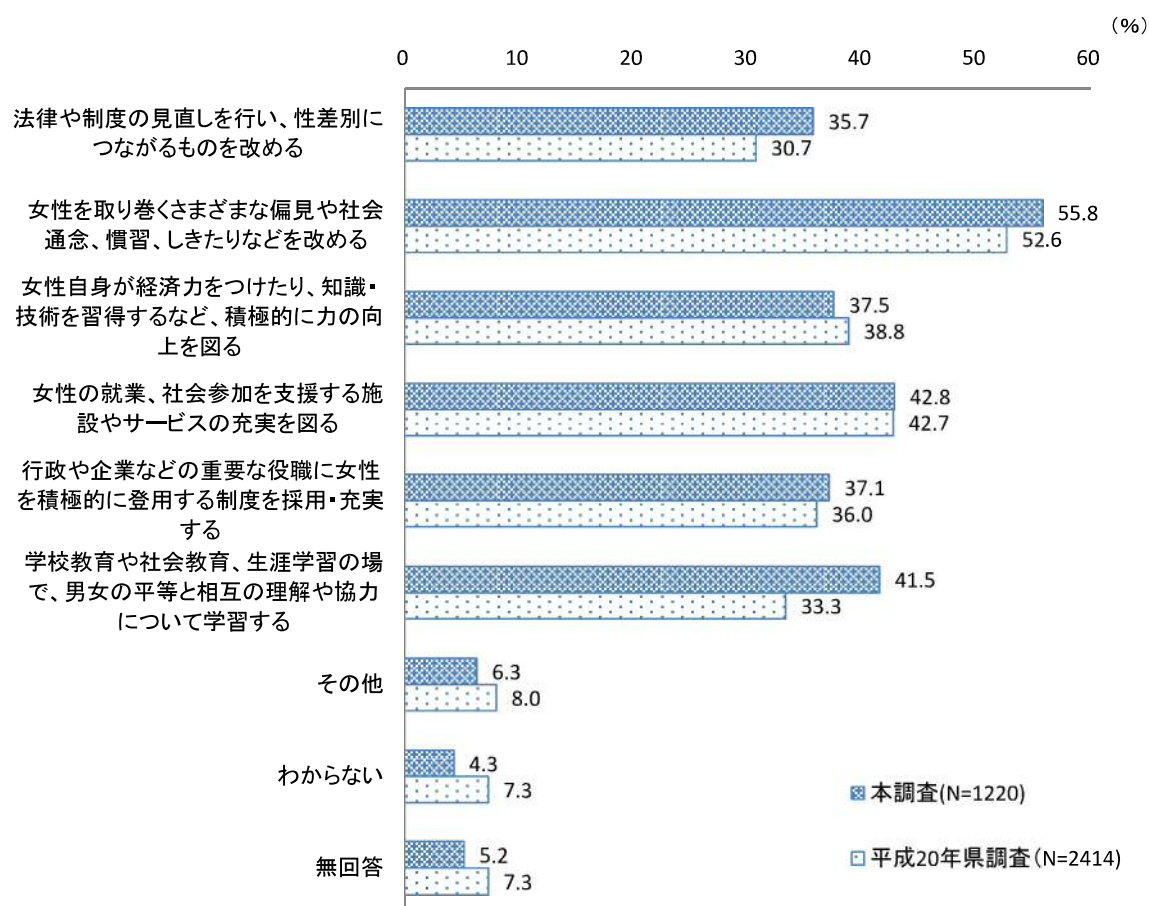
【年齢別】



## 【他調査との比較】

平成20年県調査と比較すると、「学校教育や社会教育、生涯学習の場で、男女の平等と相互の理解や協力について学習する」を始め、多くの項目が高くなっている。

図2-3 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要なこと  
【他調査との比較】



<家庭生活について>

3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

“賛成”（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」以下同じ）と回答した人の割合は 40.7%、“反対”（「反対」＋「どちらかといえば反対」以下同じ）と回答した人の割合は 50.6%と、「反対」が「賛成」を上回っている。

【性別】

性別に見ると、“賛成”と回答した人の割合は女性（36.6%）より男性（46.5%）の方が高く、“反対”と回答した人の割合は男性（45.4%）より女性（56.1%）の方が高くなっている。

【年齢別】

年齢別に見ると、“賛成”と回答した人の割合は、70歳以上（55.3%）で高く、“反対”と回答した人の割合は20歳代（62.2%）、30歳代（66.2%）、40歳代（52.4%）、50歳代（52.9%）で高くなっている。

図3-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方  
【総数、性別、年齢別】

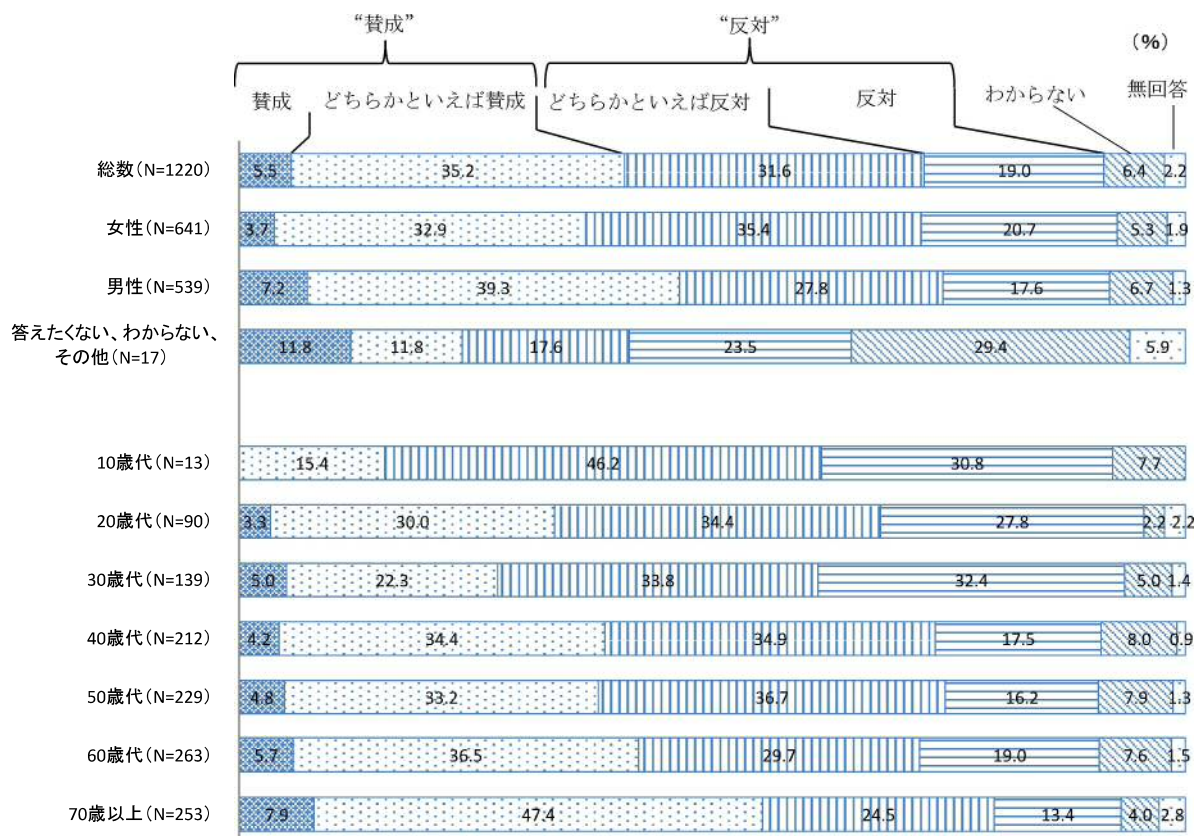


表3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方【性別・年齢別】

		サンプル数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
総数		1220	67	430	386	232	78	27
		100.0	5.5	35.2	31.6	19.0	6.4	2.2
性別	女性	641	24	211	227	133	34	12
		100.0	3.7	32.9	35.4	20.7	5.3	1.9
	男性	539	39	212	150	95	36	7
		100.0	7.2	39.3	27.8	17.6	6.7	1.3
	答えたくない、わからない、その他	17	2	2	3	4	5	1
		100.0	11.8	11.8	17.6	23.5	29.4	5.9
年齢別	10歳代	13	—	2	6	4	1	—
		100.0	—	15.4	46.2	30.8	7.7	—
	20歳代	90	3	27	31	25	2	2
		100.0	3.3	30.0	34.4	27.8	2.2	2.2
	30歳代	139	7	31	47	45	7	2
		100.0	5.0	22.3	33.8	32.4	5.0	1.4
	40歳代	212	9	73	74	37	17	2
	100.0	4.2	34.4	34.9	17.5	8.0	0.9	
50歳代	229	11	76	84	37	18	3	
	100.0	4.8	33.2	36.7	16.2	7.9	1.3	
60歳代	263	15	96	78	50	20	4	
	100.0	5.7	36.5	29.7	19.0	7.6	1.5	
70歳以上	253	20	120	62	34	10	7	
	100.0	7.9	47.4	24.5	13.4	4.0	2.8	

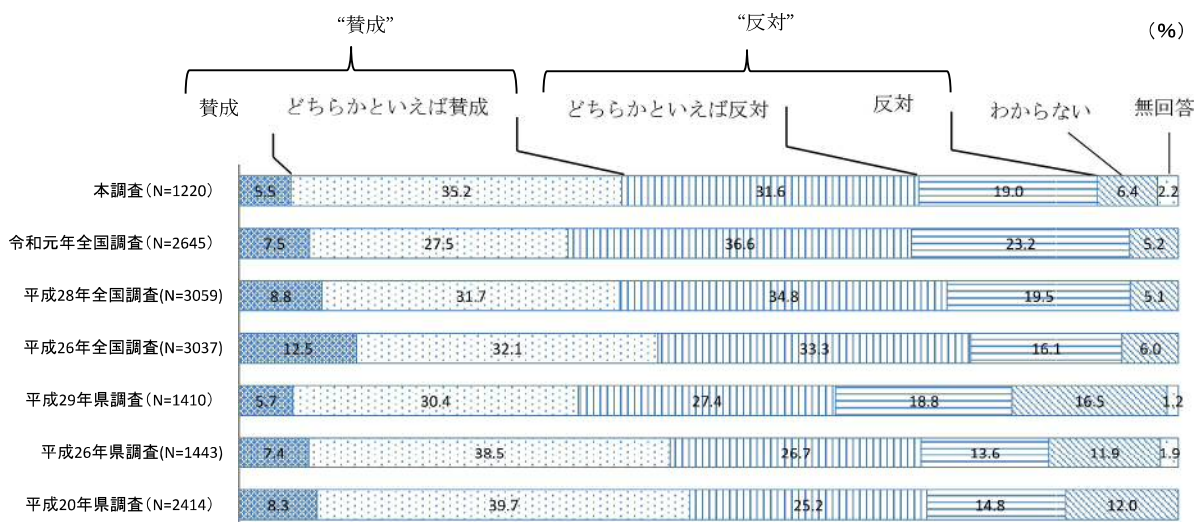


## 【他調査との比較】

令和元年全国調査と比較すると、“反対”と回答した人の割合は低くなっているが、平成29年県調査よりも高くなっている。

図3-2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方

## 【他調査との比較】



「賛成」と回答した理由

“賛成”と回答した人にその理由を尋ねると、「家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」と回答した人の割合が64.8%と最も高く、次いで「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」が61.8%、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」が41.0%の順となっている。

【性・年齢別】

性別に見ると、「家事、育児、介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから」、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」と回答した人の割合は男性より女性の方が高くなっている。

年齢別に見ると、20歳代は「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」と回答した人の割合は46.7%と他の年齢層よりも低くなっている。

図3-3 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に“賛成”の理由  
【総数、性別】

